

- ネットワーク調光操作卓/プレジャーΣ
- インテリジェント調光装置
- シーンマネージャーNET

人、街、世界をつなぐ“メディア”として誕生した新しい東京のランドマーク。
ネットワークで音と光と映像が連動する最先端演出の一端に「プレジャーΣ」を採用いただきました。

表参道ヒルズ



A60403B-01



A60403B-07

■表参道ヒルズ施設概要
 施主/神宮前四丁目地区第一種市街地再開発組合
 名称/表参道ヒルズ
 所在地/東京都渋谷区神宮前
 建築設計/安藤忠雄建築研究所・森ビル設計共同体 様
 建築照明デザイン/内原智史デザイン事務所 様
 建築工事/大林組 様
 電気工事/関電工 様
 環境演出:「+NOP」
 谷川淳司 (Creative Director)
 伊東保典 (Atmospher Visual Direction & Lighting Design)
 井出祐昭 (Sound Space Composer)
 丸野 優 (Visual Director)
 竣工/2006年1月

■多目的スペース「O」施設概要
 ホワイエ:100m²
 スペース:450m²

■納入機器
 ネットワーク調光操作卓・プレジャーΣ
 シーンマネージャーNET
 シーンマネージャーG
 インテリジェント調光装置
 DMX/パッチコントロールシステム
 演出用照明機器

東京・表参道の「旧同潤会青山アパート」再開発によって、新たなランドマークとして誕生した「表参道ヒルズ」。人、街、世界をつなぐ“メディア”として、最先端のファッション、アート、ライフスタイルを発信する空間として世界中から注目を集めています。地下3階から地上3階まで、表参道の街並みと同じ傾斜のスロープを持つ「第2の表参道」が創出された吹抜け空間には、音響・照明・映像が高次元で連動する、日本の大劇場以上のポテンシャルを持つシステムが導入されています。その先にある多目的スペース「O」は、多彩なイベント展開ができることに加え、吹き抜け空間と連動した演出も可能になっています。この最先端演出の一端として選ばれたのが、ネットワーク調光操作卓「プレジャーΣ」。ネットワーク制御への対応、モバイルPCによるパッチ、レベル設定、データ管理など、新しい操作性、機動性が、最先端の施設・演出とコラボレートしています。



A60403B-22

PCやネットワークと接続して新しい操作環境を創出 ネットワーク調光操作卓「プレジャーΣ」



多目的スペース「O」の「プレジャーΣ3」

A60403B-23



- PCで「パッチ」「レベル設定」の仕込みが可能。
- 調光室の外でも仕込みができるモバイル環境。
- 記憶容量の大きいPCでスムーズなデータ管理。
- ジョグダイヤル方式でテンキーレス操作を実現。
- 操作性を高めるイルミネーションボタンを採用。

吹き抜け空間演出用の「プレジャーΣ3」
A60403B-19

●多目的スペース「O」

■調光装置 (インテリジェント調光装置)

主幹盤	入力電源1	3φ4W 182V/105V 50Hz
	入力主幹1	MCCB 4P 1000AF/1000AT
	入力電源2	1φ3W 210V/105V 50Hz
	入力主幹2	MCCB 3P 600AF/400AT
調光回路	演出用	IL 100V 16A×20回路 PC 100V 16A×4回路
直回路	182V/105V MCCB 4P 225AF/125AT×10回路	
	182V/105V MCCB 4P 100AF/100AT×5回路	
	182V/105V MCCB 4P 100AF/60AT×9回路	
	210V/105V MCCB 3P 100AF/60AT×6回路	
	210V/105V MCCB 3P 50AF/40AT×13回路	
	210V MCCB 2P 50AF/20AT×1回路	
	100V RMCCB 2P 30AF/20AT×1回路	

プレジャーΣ3

制御回路数	1024回路
制御チャンネル数	1024ch
プリセットフェーダ	80本×3段
フェーダ(サブマスタ)	20シーン×50ページ
記憶シーン数	1000シーン以上/場面
パート機能	最大5パート
エフェクト	100パターン(トータル1000ステップ)
エフェクト同時再生機能	最大5エフェクト
ネットワークPC	モバイルPC(Windows XP)×1台
表示装置	15型TFTカラー液晶ディスプレイ×1台

松下電工株式会社 照明事業本部 ナショップ・調光システム事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048 TEL (06)6908-1131(大代表)

©Matsushita Electric Works, Ltd. 2006 本書からの無断の複製はかたくお断りします。このカタログの記載内容は平成18年7月現在のものです。

■発行 マーケティング・デザイン総合部 宣伝企画グループ 200607